

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月27日更新

事務事業名	私立幼稚園就園奨励事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	鍛野 文昭	
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	学校教育課	担当者名	橋村 綾子	
	施策の柱	56	子育ての経済的負担の軽減			所属班	総務施設班	(内線)	2213	
予算科目	会計一般	款10	項1	目2	事業連番11515	根拠法令	合志市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱		成果優先度評価結果	: ⑩
									コスト削減優先度評価結果	: ③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	幼稚園に就園する幼児を持つ保護者の就園のための経済的負担を軽減する。(国庫補助開始年度は昭和47年度～) 少子化対策としても幼稚園に就園しやすい環境をつくる必要がある。また、少子化対策の充実により、補助額単価が年々引き上げられている。幼稚園に在園する園児の保護者に対して、その所得階層に応じて入園料及び授業料を減額若しくは免除し保護者の経済的負担を軽減するもの。
【業務の流れ】	事業計画書提出依頼(4月上旬)→事業計画書受付事務(4月～6月末)→補助金交付決定事務(6月下旬)→補助金支払事務(3月上旬)→県への補助金申請事務・補助金請求事務(3月上旬)→実績報告事務(3月下旬)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	幼稚園設置者及び園児保護者からは、今後も継続して続けて欲しいとの多数の声を聞いている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	幼稚園に在園する園児の保護者に対し、その所得階層に応じた入園料及び保育料の減額若しくは免除を目的として、18園・800名に対して補助金を交付した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
幼稚園に在園する園児の保護者に対し、その所得階層に応じた入園料及び保育料の減額若しくは免除を目的として、18園・800名に対して補助金を交付した。		幼稚園に在園する園児の保護者に対し、その所得階層に応じた入園料及び保育料の減額若しくは免除を目的とした補助金を交付した。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア 入園料若しくは授業料の減免を受けた園児の保護者数	人	補助金交付対象者の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
幼稚園に在園する園児の保護者		(単位) 人
		→ ア 幼児教育が充実していると感ずる幼稚園の保護者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
園児の保護者に、入園料もしくは保育料の減免を行い、経済的負担を軽減し幼稚園教育の振興を図る。		(単位) %
		→ ア 子育てのための経済的負担が大きいと感じる世帯の割合
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
保育園児の保護者に、入園料もしくは保育料の減免を行い、経済的負担を軽減し幼稚園教育の振興を図る。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込	
① 活動指標	ア 人		791	849	700	790	350	350	350	350	
	イ										
② 対象指標	ア 人		791	849	750	790	350	350	350	350	
	イ										
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	21,150	28,425	21,000	32,882	21,000	20,000	20,000	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	65,967	84,936	85,892	78,631	64,098	80,000	80,000	80,000
		(A) 事業費計	千円	87,117	113,361	106,892	111,513	85,098	100,000	100,000	100,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	3	4	3	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	0	858	900	970	900	900	900	900		
(B) 人件費計	千円	0	3,418	3,585	3,601	3,585	3,585	3,585	3,585		
トータルコスト(A)+(B)	千円	87,117	116,779	110,477	115,114	88,683	103,585	103,585	103,585		

事務事業名	私立幼稚園就園奨励事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 保育園児の保護者に、入園料もしくは保育料の減免を行い、経済的負担を軽減することが出来る。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 国の補助制度に基づき事業を実施しており、現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業無し
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国の補助制度に基づくものであり、制度が変わらない限り事業費の削減はむりである。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在も最低限の人員で業務をやっており業務時間の削減は無理であり、業務の内容も、個人の所得情報等も取り扱うため、正職員が適当である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担は設定していない。所得に応じて補助金額を定めており一部の受益者への偏りはない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 教委と各幼稚園で協力して行う

3 評価結果の総括 (CHECK)

保育園児の保護者に、入園料もしくは保育料の減免を行い、経済的負担を軽減し幼稚園教育の振興を図ることができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						